

FANCT vol. 136-Mar.



旭川市民文化会館で実施された「令和3年度卒業証書授与式・専攻科修了証書及び学位記授与式」(2022年3月18日(金))

高専ロボコン2021 (北海道地区大会：2021年11月7日(日)、全国大会：11月28日(日))



ロボット・ラボトリ 顧問 菅 結実花

高専ロボコン2021は、11月7日(日)に地区大会(オンライン)、11月28日(日)に全国大会が開催されました。第34回目となる今年のルールは「超絶技巧(すごロボ)」。「自分たちがこだわってきた技術、挑戦してみたい技を徹底的に追求し、「すごい!技のロボット」を製作しパフォーマンスをする」という内容でした。旭川高専はAチーム『廻レ!機巧雪花!』(重ね独楽がメインのコマ回しロボット)、Bチーム『HexaGo』(ルールを自ら敷いて走行するロボット)で参加し、Aチームが全国大会へ出場しました。全国大会は2年ぶりに国技館での開催となり、学生も我々も、気が引き締まる思いでした。

大会当日は電波の混線で練習通りの成果が発揮できず、悔しい思いをしましたが、次年度以降はこの反省を活かして、素晴らしいパフォーマンスを皆様にお届けできればと思います。

今後とも、高専ロボコンに情熱を注いでいきます。引き続き、皆様のご協力とご理解、ご声援を頂けると幸いです。2021年の大会はYoutubeでもご覧になれますので、ぜひご視聴下さい。

旭川高専生のための 仕事研究セミナー

午前の部 9:00～11:30

午後の部 13:00～15:00

対象 2023年3月卒業予定の本科4年生
※専攻科生や本科3年生など、その他の学年も任意で参加可能

主催 メディア総研株式会社

後援 旭川工業高等専門学校
旭川高専産業技術振興会
旭川市



2021年度「仕事研究セミナー」

(2021年12月11日(土))

キャリア形成支援室長 吉本 健一

12月11日(土)、本校第2体育館で114社の企業が出展し、仕事研究セミナーが開催されました。新型コロナウイルスの影響で昨年度はオンライン開催でしたが、今年度は開催時期に感染状況が落ち着いていたため、2年ぶりに対面開催となりました。就職活動直前の4年生と専攻科2年生を主体に、興味ある低学年も参加して、約170名の学生が企業ブースを訪問し、真剣に企業の話に耳を傾けていました。

今年度就職活動をした5年生は、新型コロナの影響で種々の事前準備活動や本番の面接までもオンラインとなり、例年と異なる状況下のためか、内定がなかなかもらえず、例年になく厳しい活動状況でした。これから活動に入る新5年生は、オンライン対応も含め、十分な準備をして、希望する会社の内定を勝ち取ってほしいと願っています。

「卒業研究発表会」と「特別研究発表会」

(2022年2月2日(水), 2月10日(木))

2月2日(水), 「卒業研究発表会」が行われました。コロナ禍による遠隔授業の実施に伴い, 今年度の研究活動は対面での実施が大きく制限されるものとなりましたが, 学生たちは堂々と自身の研究成果を発表していました。

巣立っていった卒業生には, 卒業研究の活動と発表を通じて, それぞれが進む道で様々な問題に取り組み, 成長し, 一層の活躍をしていくことを願っています。

2月10日(木), ポスターセッション形式で, 専攻科2年生による「特別研究発表会」が開催されました。生産システム工学専攻24件, 応用化学専攻9件の発表があり, 活発な討論が行われました。



卒業に寄せて (2022年3月18日(金))

5年 機械システム工学科 担任 松岡 俊佑

機械システム工学科5年生の皆様、卒業おめでとうございます。石本先生から引き継いで、3年時よりクラス担任を担当しましたが、振り返ってみますと、いろいろなことが思い出されます。4年次、5年次の進路を決める時期に感染症が流行し、少なからず影響を受けた学生もいたと思います。4年次のインターンシップでは現地に行って実習を受けることができた学生は12名のみと、貴重な経験を積むことができなかった学生が大勢おりました。

そのような中でしていた学生は取ることができらば、進学や就道を歩んで行くが、高専の5年を活かして、そぜひとも活躍し願っています。



も、就職を希望全員内定を勝ちました。4月か職とそれぞれのことになります間で培った強みそれぞれの領域でしてくれることを

5年 機械システム工学科 宮尾 亜香里さん

この学校で過ごした5年間は長いようであっという間でした。自分の学びたいこと・やりたいことができ、とても楽しかったです。つらいことや苦しいことなどもありましたが、多くの方が支えてくださったおかげで乗り越え、今こうして卒業を迎えることができました。沢山の仲間と悩み、考え、時には泣き、笑いあえた日々は、私にとってかけがえのない財産です。また、この旭川高専で学んでいく中で、自分自身の新たな目標も見つけることができました。これからは、その目標に向かって貪欲に学び、実現に近づいていけたらと思います。その中で、この5年間を通して学んだことも活かしていけたらと思います。今まで支え助けてくださった皆さんには感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

卒業に寄せて (2022年3月18日(金))

「祝・卒業」

電気情報工学科 学科長 大島 功三

卒業おめでとうございます。この2年間、コロナ禍で普通の学生生活を送ることができない中、卒業まで辿り着いてくれたことを嬉しく思っています。卒業後は、更なる専門知識を身につけるため、就職して社会人になる人、大学等へ進学する人と、それぞれ異なる道を歩むこととなります。就職する人は、学校とは全く異なる環境で生活していかなければならず、学校で学んだことがそのまま役立つことは少ないかもしれません。自力で解決しなければならない問題に直面することもあるでしょうが、高専で身に付けた自分の力を信じて乗り越えて下さい。進学する人は、さらに知識を身につける機会に恵まれたのですから、無駄に時間を過ごさぬように努力して下さい。また、勉学以外にも色々なことを経験し、広がりを持った人間になって下さい。

最後に、健康に留意し、高い志をもって、充実した人生を送って下さい。皆さんの今後の活躍を心から期待しています。



5年 電気情報工学科 木谷 優治さん

時の流れは速いもので、入学から瞬く間に最高学年となり、こうして終わりを迎えようとしています。5年間にわたる高専生活で、学習面では電気実験やレポート、座学での専門知識の習得や5年間の集大成となる卒業研究など大変で

はありましたが、何時しか学んだことは確かな自信となり、糧となりました。また、度々問題を起こしてしまうようなクラスでしたが、友人や先生方にも恵まれ、生活面でも楽しく過ごすことができ、非常に充実したものとなりました。

最後となりますが、多方面でサポートして下さった担任や電気科教員をはじめとする高専関係者の方々、友人、家族にこの場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

卒業に寄せて (2022年3月18日(金))

5年 システム制御情報工学科 担任 大柏 哲治

システム制御情報工学科5年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。4年と5年の2年間の担任でしたが、若い皆さんと共に楽しく過ごさせてもらいました。ありがとうございます。皆さんの今後のために少しでもアドバイスさせていただきます。健康に生活し働き続けるために、休日とか時間のある時に走るといいですよ。自分の体調に合わせて週に2回ほど走れるといいですね。それに腹筋、腕立て伏せ、柔軟などプラスできればさらに良いです。健康であれば何とかなります。禁酒・禁煙が一番ですね。私はもう少し旭川高専教員として働かせて頂けることになりましたので、何かありましたらご連絡頂ければと思います。それではお元気で。

5年 システム制御情報工学科 関 隆之介さん

5年前、期待と不安を胸にシステム制御情報工学科に入学してきた44名ですが、紆余曲折を経て37名になりました。一人一人の我が強く、それぞれがしっかりとした芯を持っていますが、トンネル効果のように衝突せず過ごせました。私達には外乱をフィードバック制御する能力があります。悪く言えば相手に関心が無いだけですが、この先でも大切な技術だと思えます。かと言ってクラスの仲は冷めている訳でもなく、行事の際には半田のような結束力を見せつけま



す。先程一人一人の我が強いと書きましたが、皆に得意技能があるため、協力すると指数関数的に力を発揮します。これから皆の道は違いますが、自らの力を発揮出来る場所でLEDより輝けることを、級長として心から祈っています。

卒業に寄せて (2022年3月18日(金))

「卒業生を送るにあたって」

前回同様、低学年が大澤先生、私は4年生からのイレギュラーな形での担任となりました。なかなか気難しい雰囲気クラスであり、学生との年齢差も大きいため、まずはコミュニケーションを持つよう努めましたがコロナ禍もあり、何もできずに卒業を迎えてしまった感があります。44名で入学した仲間は32名となり、技術者のたまごとなるべく5年という年月が勉学もさることながら目標を維持することの難しさも感じます。貫いた学生達には敬意を表します。

卒業後は転げる前や転けたときに手を差し伸べてくれる人が居ないかもしれません。しかし、自分が5年間やり通せたことを自信と誇りにし「ナイス〜!」と言える人生を過ごしてくれることを願い送り出したいと思います。

最後に、クラス運営に理解を頂きました保護者の皆様、大変ありがとうございました。そして、5年間本当にご苦労さまでした。

5年 物質化学工学科 岡田 斗人さん

遂に5年間が終わってしまいました。私たちのクラスは非常におとなしく、先生方には非常に扱いにくかったと思います。学業面でもクラスの下々の救済のために、再試、再々試、再々々試…をしてくださった先生方にはこれからも足に向けて寝られません。レポートやテストで苦しんでいた当時は、先生方が悪魔に見えていましたが、卒業を控えた今考えてみると、自主性や思考力を育てるために“あえて”厳しくしてくださったのだと深く感謝しています。ぜひ後輩たちにも“愛の鞭”でビシビシご指導お願いします。

最後になりますが、担任としてお世話になった大澤先生、宮越先生、津田先生をはじめ、たくさんの先生方、同級生、共に卒業とはならなかったかつての仲間たちに心から感謝しています。5年間楽しかったです！またいつか！



専攻科修了に寄せて (2022年3月18日(金))

生産システム工学専攻 専攻主任 以後 直樹

生産システム工学専攻の皆さん、専攻科修了おめでとうございます。皆さんは、約7年近くを高専の学生として過ごしてきたことと思います。その中で、技術者や研究者に必要なスキルを習得されてきたと思います。高専で得たスキルを活かして、世の中の人々が便利に過ごすことができる社会の実現に貢献して下さい。4月からは、7年近くいた慣れ親しんだ環境から大きく変わることになると思います。すぐには馴染むことが難しいかもしれませんが、高専で培ったスキルを活かして、環境の変化にうまく適応して下さい。最後に、皆さんが様々な分野で活躍されることを応援しております。それでは、またいつの日か再会できることを楽しみにしております。

応用化学専攻 専攻主任 千葉 誠

専攻科応用化学専攻修了生の皆さん、修了おめでとうございます。皆さんが希望を胸に入学してきた時を思い返すと、ちょうどコロナウイルスの感染が拡大しており、緊急事態宣言が発令されていた頃でしたね。それから2年経った今でも、本校だけでなく、世界中でコロナ禍は収束しておらず、この2年間、友人と自由に楽しく交流したり、学会への参加、ときには当たり前のように行われてきた学校での対面形式での授業もできないという、これまでに例を見ない、大変不自由な専攻科生活だったのではないかと思います。私はこのような残念な経験であっても、いつか必ず、自身の成長につながった、と実感できる日が来るものと確信しております。皆さんの今後の活躍に期待しております。

専攻科修了に寄せて (2022年3月18日(金))

2年 生産システム工学専攻 木村 至孝さん

私たちの世代は、COVID-19によるパンデミックが始まってすぐに専攻科への入学となりました。そのために、本科での卒業式の中止や、入学後1週間でオンライン授業に、その後も数回、オンライン授業の実施など、今まで経験したことのないような状態で専攻科の2年間を過ごしました。

旭川高専は工学の学校であるので、オンライン授業などは環境が整っており、十分に学ぶことができました。今後、私たちは大学院への進学、企業への就職となりますが、遠隔授業・リモートワークを多用する場面も多くなるかと思えます。その中で役立つような経験をするのができたため、今後確実に役に立つと考えております。

7年間お世話になりました。心から感謝申し上げます。



進路状況 [就職] (2022年3月25日(金)現在)

本科卒業生の就職先	M	E	S	C
AIS北海道株式会社			1	
CTCテクノロジー株式会社		1		
株式会社 ProVSION		1		
株式会社 TBSアクト		1		
アイシン・ソフトウェア株式会社			2	
アークレイ株式会社		1		
旭川計量機株式会社	1			
株式会社 アズマ	1			
株式会社 アルプス技研	2	1		
井関農機株式会社			1	
出光興産株式会社				1
ウェルネット株式会社			1	
ウナルステクノロジー株式会社		1		
エア・ウォーター・テクノソリューションズ株式会社	1			
大阪シーリング印刷株式会社	1			
株式会社 大塚製薬工場				2
オムロンフィールドエンジニアリング北海道		1		
キヤノン株式会社			1	
株式会社 クレセント			1	
光生アルミ北海道株式会社			1	
さくらインターネット株式会社		1		
シャープ株式会社			1	
株式会社 ソルクシーズ		1		
ソニーGMO株式会社			1	
第一三共ケミカルファーマ株式会社				1

本科卒業生の就職先 (続き)	M	E	S	C
ダイキン工業株式会社	1			
大陽日産株式会社			1	
多久製作所	1			
東芝プラントシステム株式会社		1		
日糧製パン株式会社				1
日東電工株式会社			1	
ニプロ株式会社				1
日本オーチス・エレベータ株式会社		1		
日本貨物鉄道株式会社北海道支社	2	1		
日本原子力発電株式会社		1		
株式会社 日本製鋼所			1	
農業				1
株式会社 ハイマックス		1		
東日本高速道路株式会社	1	1		
株式会社 飛翔ソフトウェア			1	
日立建機日本株式会社	2			
株式会社 日立ビルシステム	1			
株式会社 日立ハイシステム21		1		
株式会社 福井村田製作所	1			
藤コンクリート株式会社	1			
フジテック株式会社	1			
富士電機株式会社		1		
富士古河E&C株式会社	1			
藤森工業株式会社			1	
株式会社 ブリックス			1	

(次ページに続く)

M：機械システム工学科， E：電気情報工学科， S：システム制御情報工学科， C：物質化学工学科

進路状況 [就職] (2022年3月25日(金)現在)

本科卒業生の就職先 (続き)	M	E	S	C	
株式会社 プロメック			2		
北都システム株式会社		1			
北海道開発局	1				
北海道ガス株式会社	1				
北海道電力株式会社		1			
株式会社 北海道LIXIL製作所				1	
牧野フライス製作所株式会社	1				
三菱電機ビルテクノサービス株式会社	2	1			
株式会社 ミライト		1			
村田機械株式会社			1		
ムラテックCCS株式会社		1			
株式会社 明治十勝工場				1	
森永乳業株式会社 佐呂間工場				1	
山崎製パン株式会社	1				
株式会社 ワールドインテック	1				
計	25	22	19	10	76

M：機械システム工学科， E：電気情報工学科，
S：システム制御情報工学科， C：物質化学工学科

専攻科修了生の就職先	P	A	
NTT東日本グループ	1		
旭化成株式会社		1	
アイデア・コンサルティング株式会社	1		
大阪ガス株式会社	1		
キャノンメディカルシステムズ株式会社	1		
サントリーホールディングス		1	
標津町職員		1	
ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社	1		
第一工業製薬株式会社	1		
テルモ株式会社	1		
株式会社 日産オートモーティブテクノロジー	1		
一般社団法人 日本血液製剤機構		1	
株式会社 日本触媒		1	
ファナック株式会社	1		
フジテック株式会社	1		
株式会社 ホクエイ	1		
ホクレン農業協同組合連合会	1		
北海道警察情報通信部	1		
北海道電力株式会社	1		
三菱重工業株式会社	1		
メタウォーター株式会社	1		
計	16	5	21

P：生産システム工学専攻， A：応用化学専攻

進路状況 [進学] (2022年3月25日(金)現在)

本科卒業生の進学先	M	E	S	C	
旭川工業高等専門学校 専攻科	2		10	7	
金沢大学			1		
信州大学	1				
千葉工業大学			1		
千葉大学	1				
東京農工大学	1				
豊橋技術科学大学	2	1	2	4	
長岡技術科学大学	4	4	2	4	
新潟大学		1			
弘前大学		1			
北海道大学				2	
北海道教育大学旭川校		1			
学校法人布川学園 北海道美容専門学校				1	
室蘭工業大学		2	1	3	
旭川工業高等専門学校 研究生	1				
計	12	10	17	21	60

専攻科修了生の進学先	P	A	
筑波大学大学院	1		
豊橋技術科学大学大学院	1		
北海道大学大学院	6	4	
計	8	4	12

<本科>

- M : 機械システム工学科
- E : 電気情報工学科
- S : システム制御情報工学科
- C : 物質化学工学科

<専攻科>

- P : 生産システム工学専攻
- A : 応用化学専攻

定年退職される教員より

「退職にあたって」

個人的に初めての北の大地での勤務となりました。学校においては、前任地の九州や東北と違い、学校の伝統や教職員の考え方がだいぶ異なりました。それでも、旭川高専にとって何がいいのか、何ができるのかを考えながら過ごさせて頂きました。新年度から校長が変わりますが、皆様には学生、学校、地元にとってかけがえのない旭川高専になるよう、持続して尽力して頂きたいとお願ひします。3年間ありがとうございました。



校長 高橋 薫



「退職にあたり」

電気情報工学科 准教授 有馬 達也

高専は高校ではありませんし、大学でもありません。卒業生も大卒として見てくれる企業もあれば、5年頑張ったにも関わらず工業高校卒業者と同等に扱う会社もあります。このような「混沌」こそ実は、高専の本質となります。混沌の中で自分の頭で考え、個性を出して進む。それを助けるのが教員です。私は残念ですが、もう手伝えません。学生の皆様、教員は生きたデータベースです。人生に迷った時には、必ず有用な助言をもらって下さい。



定年退職される教員より

システム制御情報工学科 准教授 大柏 哲治

早いもので、25歳の時に採用されてからもう37年と9か月経ちました。あっという間でした。いろいろとご迷惑をおかけしてきましたが、何とか今まで旭川高専教員として働くことができたのは、皆様のご協力、ご指導のおかげです。特にシステム制御情報工学科教員の皆様には本当にお世話になりました。

4月から再雇用教員として勤めさせて頂きます。またご面倒などおかけするかもしれませんが、今後ともよろしく願いいたします。



人文理数総合科 教授 石本 裕之

平成5年に赴任し、令和4年定年を迎えます。本校では機械、電気、制御、化学…と順繰りに学級担任をし、分掌は教務、寮務、学生の順で主事補または主事に従事しました。開校50周年の頃の忙しさが印象深くあります。授業は国語、文学、哲学、日本文化論、言語表現、一般教養特別講義日本文学、日本語、他大学で漢字・漢語概論、漢文学特講等を担当しました。

今後も思想、文学の研究に微力を尽くす所存です。皆様お元気でご活躍ください。



退職される教員より

「退職へ向けてのご挨拶」

機械システム工学科 准教授 横井 直倫

この度、一身上の都合により本校を退職させて頂くこととなりました。本校には平成14年4月に着任以来、20年間に渡り大変お世話になりました。その間に様々な校務を務めました。特に3度の担任業務と、最後の2年間に担当した専攻科長業務が強く思い出に残っております。

新年度からは、他の高等教育機関で引き続き教育・研究の職に携わることとなります。活動の場所は変われども、次世代を担う優秀な学生を育成するという志は皆様と同じですので、今後も色々とお世話になる機会があるかもしれませんが、その際はどうぞ宜しくお願い申し上げます。



新任職員より

技術創造部 技術職員 泉谷 光祐

昨年12月より旭川高専技術創造部で技術職員として働かせて頂いております泉谷光祐と申します。昨年の夏までは情報系の大学院に所属しており、旭川高専で行われている実習や使われている機械についてはまだまだ知らないことも多いですが、学生のサポートができるよう精一杯努力していく所存ですので、皆様どうかよろしくお願ひいたします。



旭川高専産業技術振興会の企業紹介

No.21 株式会社 カンディハウス

会社概要

- ・ 設立：1968年9月14日
- ・ 従業員数：252名（男性177名，女性75名）
- ・ 事業内容：住宅・オフィス・コントラクト家具の製造・販売，
インテリアデザインの企画・設計・施工・工事監理など
- ・ 事業所：本社・工場：旭川，支店：旭川，道央，東京，名古屋，大阪，福岡

アピールポイント

皆様初めまして。私たちカンディハウスは、できる限り北海道の木を使用した木製家具の製造から営業，販売，アフターサービスまでの一貫した事業を行っています。

本社旭川にある工場では，NC等の機械設備の導入や3DCADを活用し，手仕事とテクノロジーを融合させて，日々効率化を目指しながらよりよい生活の道具となる家具を製作しております。2021年5月には，現代のライフスタイルに合わせた空間提案となるよう，親和性の高いブランドロゴマークへと刷新しました。今後も，ものづくり企業として環境に対する負荷を軽減し，地球環境と調和する「デザイン経営」をさらに推進してまいります。

インターンシップの受け入れも随時行っていますので，ものづくりが好きな方，興味がある方はぜひお問い合わせ下さい。ショップもご覧頂くことが出来ますので，お待ちしております。

連絡先

住所：北海道旭川市永山北2条6丁目
TEL：0166-47-1188 経営管理本部
HP：<https://www.condehouse.co.jp/>



代表取締役社長
染谷 哲義



家具製造の風景



本社社屋

旭川高専産業技術振興会の企業紹介

No.22 株式会社 セーブ・エナジー

会社概要

- ・ 設立：1986年5月 資本金：1,000万円
- ・ 従業員数：16名（男性11名，女性5名）
- ・ 事業内容：冷暖房・空調・衛生設備の設計・施工・メンテナンス，
フィルターメンテナンス・販売・修理，
計装設備機器・監視設備機器の設計・販売・コンサルタント，
建築設備全体の修理・改善・改修工事請負，
フロンガス回収事業，建築設備全般の省エネルギー化工事



代表取締役
外崎 裕二

アピールポイント

私たちは大型店舗，官公庁等の建物の空調や水回りを設計・施工・管理する会社です。ネット環境の普及により，大型店舗や日常に直結した施設しか残らなくなり，この先数十年の計画が見込まれています。また，建物が老朽化してきた際には，新築から20年程度で空調を新しくしなければならない需要もあり，継続的に仕事が続きます。

IOT化でエアコンもスマホから操作できるようになり，空調の技術とIOTの技術を融合する人材が今後求められます。その為，基礎工業能力を持った人材を我々の専門技術によって，新しい人材へ育てる可能性がある旭川工業高専の学生の皆さんが来てくれることを熱望します。

連絡先

住所：北海道旭川市春光台2条2丁目2番12号

TEL：0166-52-8555

HP：<http://www.saveenergy.co.jp>



社屋

FANCT

vol. 136-Mar.



独立行政法人国立高等専門学校機構
旭川工業高等専門学校

〒071-8142 旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8000 (代表)

FAX 0166-55-8082

URL <http://www.asahikawa-nct.ac.jp>

学校だよりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用及び外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記担当までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー・転写等の二次利用は固くお断りいたします。